



第396号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 自分を信じる



カット：  
本多紘子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。年始早々から新型コロナウイルスによる第8波の感染の心配や、昨年2月からのロシアによるウクライナ侵攻で食品やエネルギー価格が高騰し、物価高が家庭の台所事情を直撃し不安ですね。皆様、お正月は如何お過ごしでしょうか。

昔の正月は家族や親戚が集まって挨拶し、御馳走を食べていましたが、核家族化が進行して本家である実家に親族一同が次第に集まらないうようになり、正月は温泉旅行や海外旅行に行く家庭も増えていきました。しかし新型コロナウイルスの流行からは、温泉旅行や家族旅行も出来にくくなり、各家庭のお正月の過ごし方はどんなになるのかな。

日本の国も貧富の差が二極化し、富める人は財を蓄えて優雅な生活をし、生活に困る貧しい人は子供の養育にも悩んでいます。若い人達が希望の持てる国造りをしないと、日本は萎んでしまいうそうです。国造りは、人造りだと言われ、教育のビジョンが大切です。

世界第二の経済大国にまで上りつめた日本の国も、今ではお隣の中国を世界の工場と呼んで、経済大国を譲り、若者達に次世代の技術革新の研究も取り残されたのは悲惨です。私たちは限りある地球の資源を大切にし、循環させて、世界の人と共に歩みたいですね。

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

年末に、昨年の1年を表現する1字の漢字として清水寺で「戦」が発表されました。ロシアによるウクライナへの突然の侵攻による戦いがいまだに続いていることと、サッカーの第22回ワールドカップ・カタール大会で1次リーグで32チームが感動的で素晴らしい戦いを繰り広げたからだそうです。日本代表もW杯優勝経験国のドイツとスペインを破り、2勝1敗で1次リーグを突破し、世界を驚かせています。決勝トーナメントでは前回準優勝のクロアチアに、PK戦まで激しく戦い敗れましたが、日本国民は勇気と感動をいただきました。

サッカーの日本代表監督であった森保一(54)氏は、選手時代にワールドカップの予選で、あと一勝すれば日本が初めて大会に初参加できたのに、最後の最後で同点にされ、初参加が閉ざされたカタルのドーハの悲劇を味わいました。サンフレッチェ広島島で監督を引き受けたときは、選手を信頼し、失敗や成功を繰り返して判断力や技術・駆け引きを学ぶことを伝えました。選手達には、プレイを楽しみ自信をもって戦って欲しいと、常に声をかけています。今回のワールドカップでも選手を信頼し、各選手の持ち味がでた戦いでしたね。

仏教に『自燈明 法燈明』という有名な句があります。「みずからを灯火とし、法(真理)を灯火とせよ」という意味です。サッカーの日本のチームを応援していたサポーター達による、試合後の会場のゴミ拾いが、良い話題として世界にマスコミで配信されました。日本が勝っても負けても試合後にゴミ拾いをして、スタジアムを綺麗にして帰るといことが、世界に賛美され、日本人が親しまれるのは有り難いです。「掃除は芸術なり」とも言われ、心に燈明がつけました。

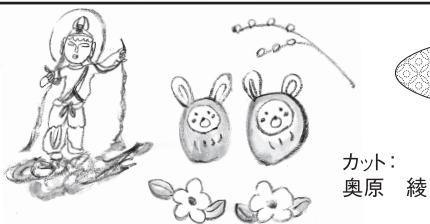
一昨年に続いて、昨年も投打の「二刀流」で大活躍を続けている大リーグのエンゼルスの大谷翔平選手(28)が、投手で15勝、打者で本塁打34本と大活躍をしました。常に自分を信じ、練習方法を工夫し、周りの人を大切にしているので、みんなから好かれています。「何があっても大丈夫」と自分を信じて生きようよ。合掌 (奥原 曇龍)

『良いことも悪いことにも出くわすが 自分を信じて今年も歩もう』 どんりゅう

日時・一月 一日「日曜日」 午後一時半から四時まで。  
元旦説法・「歎異抄(たんにしょう)に学ぶ」  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、  
お寺についてもっと知りたい方

[心光寺 倉敷 検索](#)



カット：  
奥原 綾

## ともしび説法





# お釈迦様ものがたり 75

お釈迦様が35歳でさとりを開かれ、仏教の教えを広めていきますが、インド第二の強国であるコーサラ国の布教は困難を極めます。しかし、お釈迦様の誠実な態度と理路整然とした説法に、コーサラ国の首都舎衛城のパラモンや沙門(出家者)たちは次第に心を開き、仏教教団に入る人も増えて出しました。

お釈迦様は人間の根本的な苦しみは、生まれる苦しみ、老いる苦しみ、病の苦しみ、死んでいく苦しみの四苦である。この四苦から解放されるために八つの正しい道を実践して欲しいと述べます。八正道とは、四苦の道理を正しく見る正見・正しく考える正思惟・正しく語る正語・正しい行いの正業・正しい生活の正命・正しい努力の正精進・正見を得ることを念じ忘れない正念・正しく清浄な禅定に入る正定のことを言います。

仏教教団の比丘(出家者)の人は八正道を実践し、慎み深く、礼儀正しく、質素であったので、やがて首都舎衛城の人々は仏教教団を尊敬し、住民の3分の2が仏教信者になったとせられています。

首都舎衛城には長者のスタッタ(給孤独)の建てた祇園精舎があり、長者富豪に嫁入りしたヴィサーカー夫人が寄贈した東園鹿子母講堂という二大精舎が建てられたため、仏教教団にとっては、極めて住みやすく、修行のし易い場所となりました。

お釈迦様も55歳頃から涅槃に入る80歳までの後半生の25年間は、雨期の多くを舎衛城の二大精舎で過ごしました。実際に於いて、千人二千人というような大比丘衆(修行者)に對して、雨期の3ヶ月間も毎日食事を供給することは、よほどの経済力のあるコーサラ国でなければ出来ないことでもあった。

仏の説法を伝えた経典は、現存するものの7/8割までが祇園精舎で説かれたものであるとせられています。合掌 (奥原曇龍)

初日の出世界の平和祈りつつ 自然と足向くともしび説法 田辺多恵子



鐘撞き堂の前で曇龍住職

## ともしび説法

『明けまして南無阿弥陀仏』  
希望と不安の入り混じる新しい年を迎えました。皆様いかがお過ごしでしょうか。大地震・大雨・大型台風や戦争による被災者たちの少ない社会を願って。『世の中安穩なれ 仏法広まれかし』 合掌  
心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

曇龍住職様が11月に心房細動の治療のために3日間の入院されたとのこと、お見舞い申し上げます。これからは健康に気を付けて、無理の無いように。今から今から。  
倉敷市黒崎 早瀬小夜子

私も10年前に心不全になり3週間入院し毎日のように検査でした。今も薬を飲み続けていますが、息子も気に懸けてくれます。生きることは大変。ここから。ここから。岡山市中区国富 津田 祥子

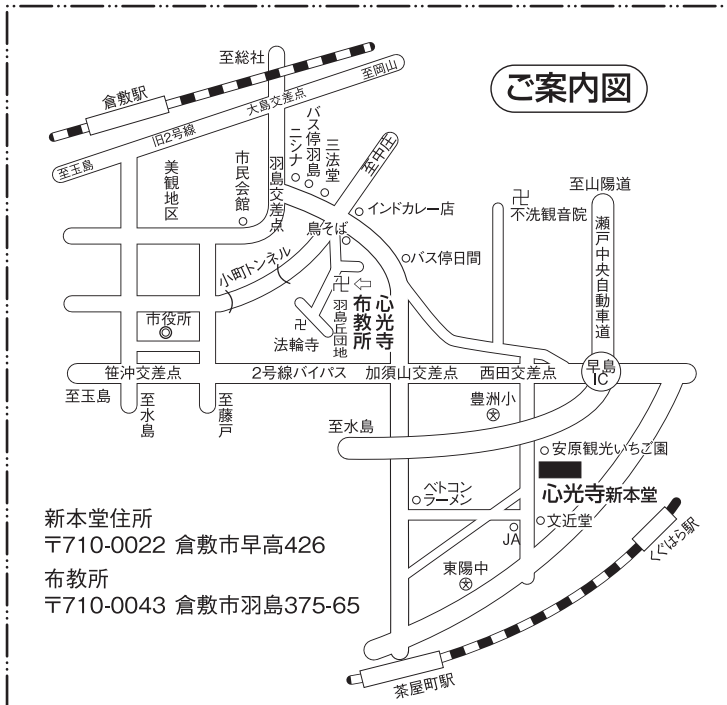
4ヶ月前に白内障手術で4日間入院後、あちらこちらの治療が増え通院です。『何があっても大丈夫』と成り行きにまかせた毎日を、孫の世話をして過ごしています。  
都窪郡早島町 平松 公子

# ともしび説法

日時・一月 一日「日曜日」 午後一時半から四時まで。  
元旦説法・「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り  
(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定  
二月 十日(金)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。  
三月 十日(金)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。  
四月 十六日(日)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。

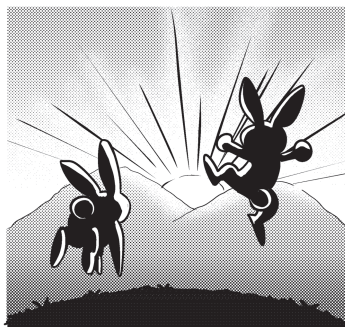
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。  
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。  
会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございます。

- 岡山市 津田様 早島町 平松様 4千円
- 倉敷市 山形田鶴子様 5千円
- 倉敷市 藤原力様 1万円
- 山口県光市 久行美也子様 2万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

## こころの詩

新しい年が来たよ  
まわり道をしながら今年も歩む  
実り豊かな人生を歩むため  
無駄を恐れずとられず  
目立たなくても人に優しく  
ものを大切にしながら  
かけがえのない一年にしたい



〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうとしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「396号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。 合掌 心光寺 総代長 本家豊彦